



探究 I (FR) ～パラグラフ・ライティング～

レポートや論文は何のために書くのだろうか？それは、[相手に伝えるため]である。読み手に書き手の意図を理解させ、納得させるためには書き方に気をつけねばならない。根拠や主張の正当性はもちろんのこと、段落の書き方、段落同士のつながりなど、文章構造を意識して書き、説得力のある文章を書こう。

パラグラフ・ライティングとは何か？

- ① **トピックはパラグラフに1つだけ**
- ② **初めに主張、説明・根拠は後**
- ③ **文章中に余計な情報を入れない。**
- ④ **アウトラインを決めてから書く。**

パラグラフ・ライティングは国際的な手法として多くの国々で利用されている。論文を書く時だけでなく、普段自分の意見を書くときなどにもパラグラフ・ライティングを意識できるようにしよう。

① トピックはパラグラフに1つだけ

トピックとは()・()・()、パラグラフは()と訳される。主張・主題は1つの()に1つだけ盛り込むことを意識して書こう。同じ段落に複数のトピックがあると、根拠と主張の繋がりが明確にならず、読み手が混乱してしまうからだ。

○考えてみよう○

(1) 「トピックはパラグラフに1つだけ」であるのはどちらか？

答(A ・ B)

(2) 例Aと例Bに書かれているトピックは何か？

例A

(略)

例B

(略)



またトピックをパラグラフに1つだけにするを意識すると、書き手が情報を整理することにもつながる。次の問題に挑戦しよう。

○書いてみよう○

次にあげる二足歩行型ロボットの情報は「動作」というトピックで1つのパラグラフになっている。

このロボットは人に対して以下のような様々な動作をする。

- ① 人の手の動きを認識できる
- ② 感情を動作で表現できる
- ③ プログラムされた文を発話できる
- ④ 簡単な単語なら理解できる
- ⑤ 目の動きで意思を表示する
- ⑥ 触られた強弱を感じ取る

(1) ①～⑥を2種類に分類し、それぞれトピックを書き出してみよう。

分類 _____ → トピック1 _____

分類 _____ → トピック2 _____

(2) 上の分類をもとに2つのパラグラフを作ってみよう。※パラグラフ内で箇条書きを使用しても良いが、必ず1文以上の文章を組み込むこと



② 初めに主張、説明・根拠は後

パラグラフの冒頭には()を書こう。この()のことを()と言おう。あらかじめ主張が提示されていると、その後の文章で書き手が何を述べたいのかが一目瞭然になる。
ex) 新聞の見出し

○比べてみよう○

(1) 例CDのトピックセンテンスに下線を引こう。

(2) パラグラフの末尾もしくは途中でトピックセンテンスを書くときどのようなデメリットが考えられるか？

例C

(略)

例D

(略)

③ 文章に余計な情報を入れない

知識があるからといって余計な情報を入れると何が一番言いたいかが分からず、主張がぼんやりとする場合がある。情報の取捨選択が必要なのである。



○英語のパラグラフに挑戦してみよう○

(1) 次のパラグラフのトピックセンテンスに波線を引こう。

(2) 次のパラグラフから余計な情報を抜き出し、下線を引いてみよう。

(略)

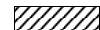


④ アウトラインを決めてから書く。

アウトラインとは、()のことである。

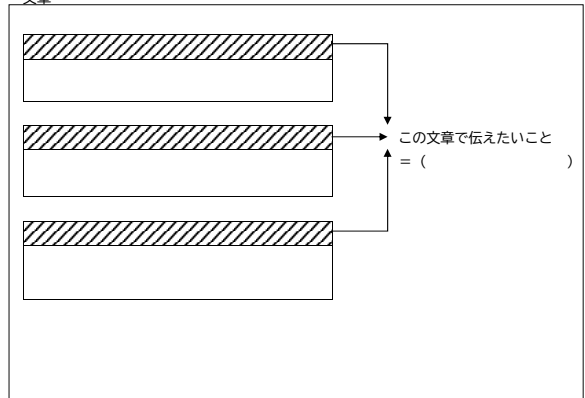
「② 初めに主張、説明・根拠は後」ということは、「パラグラフの冒頭文だけをつけて読めば書き手が何を伝えたいのかが分かる」ということを表している。文章を書き始める際には、まずアウトラインを決めてから文章を書けばよい。そうすることで主張の一貫性が保たれ、説得力のある文章を書くことができる。

★イメージ図



…トピックセンテンス

文章



★次回の講座では、実際にパラグラフライティングを意識して書きます。

以下の3つのトピックから1つ選んでおくこと！

- ① 「日本の男性も育児休暇を取るべきである」をトピックセンテンスにして書く。
- ② 理由とともに、これからあなたが学びたいこと、取りたい資格について書く。
- ③ あなたが好きなスポーツを選び、それがいかに素晴らしいかを書く。